

海辺の巡礼路をたどり、祈りの都サンティアゴへ。

TRAVEL THE CAMINO

Atlantic Way

大西洋の祈り「ポルトガルの道」
サンティアゴ巡礼路 9日間

「潮風と祈りに導かれる、海辺の巡礼路」

ポルトから始まる「ポルトガルの道」は、大西洋沿岸を北上しながらサンティアゴを目指す巡礼路です。潮風を感じる海辺の道、砂丘や木道、素朴な漁村を辿り、ポルトガル北部ならではの静かな風景の中を歩きます。

国境を越えてスペイン・ガリシア地方へ入ると、景色は緑深い森や川沿いの小径、中世の面影を残す町並みへ。最後はサンチャゴ大聖堂がそびえるオブラドイロ広場へ歩いて到着する、感動的な9日間の新企画です。

2026年6月10日（水）～ 6月18日（木）

旅行代金 778,000 円



ツアーリーダー
芹澤 健一
(せりざわ けんいち)
がご案内します

“海から巡礼の都へ、景色が移り変わる5つの歩きどころ”

大西洋沿岸の開放的な海辺から、国境を越えたガリシアの森と中世の町へ。日ごとに表情を変える道を歩きながら、サンティアゴへ近づいていきます。

① 潮風を感じる、ポルトガル北部の海岸線

旅の前半は、大西洋を間近に感じながら歩く海辺のルート。砂浜、砂丘、木道、湿地帯が続き、足元には巡礼路を示すホタテ貝の道しるべが現れます。海の向こうへ広がる空、波音、潮風に包まれながら、静かな巡礼の一步が始まります。



② 素朴な漁村と、海とともに生きる町

道中では、ヴィラ・シャーやヴィラ・ド・コンデ、カミーニャなど、海辺の町や村を訪ねます。漁村の家並み、港町の風景、海を見守る要塞、造船の歴史を伝える場所など、華やかな観光地とは違う、土地に根づいた暮らしに触れられるのも魅力です。



③ 国境を越えて、スペイン・ガリシア地方へ

ポルトガルの海辺の道から、スペイン・ガリシア地方へ。国境を越えると風景は少しずつ緑深い森、丘陵、川沿いの小径へと変わります。言葉や食文化、町並みの違いを感じながら歩くことで、単なるハイキングではなく、ヨーロッパの歴史ある道をたどる旅。



④ 中世の橋、石の十字架、巡礼の記憶

ガリシアに入ると、巡礼路らしい風景が濃くなります。中世の石橋ポンテ・サンパイオ、石の十字架、素朴な教会、古くから人々が行き交ってきた村々。道そのものに刻まれた歴史を感じながら、サンティアゴへと続く巡礼の時間を味わいます。



⑤ 歩いてたどり着く、サンティアゴ大聖堂

旅の最終盤、アラメダ公園からサンティアゴ大聖堂の塔が見え始めると、いよいよ巡礼の終着地へ。石畳の旧市街を進み、オブラドイロ広場に立つ瞬間は、旅のクライマックスです。



大西洋の風を感じながら歩く、特別な巡礼の旅へご一緒しませんか。